

とも如何に異例であったかがうかがえよう。ところで、ループを描くときの台風の速度は、ループ中は勿論のこと、描き始める前も一般におそく、大体 1 日に緯度にして 3~5° すなわち **時速 15~25 キロ** の場合が多い。ただし、よわい台風の場合には、割合速度の大きい時速 40 キロ内外のときでもおきている。

8. むすび

今回は、台風が進行中にループを描いたものについて頻度、形状、地理的分布などについて調査した。この結果、日常我々が経験するように、ループを描く場合の台風の勢力は弱いものが多く、時期としては、一般流の弱い、7 月、8 月に多いことがはつきりした。今後は個々の台風について、気圧配置との関係とくに高層の場合との関連を調査し、予報の手掛りをつかみたいと考えている。このことについては、別の機会にゆずることにした。なお、製図は図書課酒井弘君におうところが多い、記して感射の意を表します。

参 考 文 献

- 1) 館 知之 1961: 台風に関する 2, 3 の統計的調査 (第 1 報), 日本気象学会機関誌, 天気, 10, p. 337~344.
- 2) 館 知之 1961: 台風に関する 2, 3 の統計的調査 (第 2 報) 日本気象学会機関誌, 天気, 11, p. 382~386.
- 3) 館 知之 1961: 台風に関する 2, 3 の統計的調査 (第 3 報), 日本気象学会機関誌, 天気, 12, p. 410~414.
- 4) 昭和 39 年度異常気象報告第 9 号: 昭和 39 年 8 月 11 日~26 日の台風第 14 号速報 (昭和 39 年 9 月 1 日気象庁予報部).
- 5) Hurricanes, Ivan Ray Tannehill. Princeton University Press, 1950.
- 6) Tracks of Tropical Cyclones in South Pacific By J. L. GIOVANNELL: Preceedings of the Inter-regional seminar on Tropical Cyclones in Tokyo 18~31. Jan. 1962.
- 7) 館 知之 1962: 台風の大きさと強さの分類について, 測候時報, 第 29 卷第 10 号. p. 339~324.

関 西 支 部 ニ ュ ー ス

月 例 会 「台 風」

日時 昭和 39 年 10 月 21 日 (水)

13 時 30 分 ~ 17 時 00 分

場所 神戸海洋気象台 3 階会議室

主題 「台風」

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 高潮予報とコールシステム | 金屋 光三 |
| 2. 台風の衰弱について | 平沢 健三 |
| 3. 台風の進路予報 | 橋本 正義 |
| 4. 台風の進路予報 | 中島暢太郎
橋本 清美 |

主催 海洋気象学会

日本気象学会関西支部

「豪雨 (7 月 18 日 山陰の豪雨)」

日時 昭和 39 年 10 月 29 日 (木) 午前

場所 米子測候所会議室

主題 「豪雨」

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. 昭和 39 年 7 月 18 日豪雨のメソ解析 | 菱谷 敏郎 |
| 2. 昭和 39 年 7 月 18 日の豪雨について | 根山 芳晴 |
| 3. 豪雨時の降雨細胞について | 市川 清見 |
| 4. 山崩れと雨量の関係 | 来海 徹一 |

第 2 回常任理事会開催

9 月 2 日 13 時より臨時に第 2 回常任理事会を大阪で開催した。

出席者、間野支部長、山元、吉野、勝井、中野、橋本、中島の全常任理事

議題、本部より気象学長期計画草案についての意見を求められたので臨時に開催されたのであるが、この草案について活発な意見の交換があった。つづいて年内に開催予定の月例会の計画について審議が行なわれた。これ等の内容については別項に記した。